

佐々木 美佳子 ヴァイオリンリサイタル

# 祈りを込めて音を編む



## ヴァイオリン 佐々木美佳子 (主催) Mikako Sasaki

武蔵野音楽大学音楽学部器楽科ヴァイオリン専攻、同大学オーケストラのコンサートマスターを務めた。卒業後、カールスルーエ音楽大学教授ナウム・エアリッヒ氏のもとで勉強を重ね、ウィーン国立音楽大学においてマスタークラス受講し、代表演奏会出演の後エドワード・ツイエンコフスキー氏に師事。2歳半からヴァイオリンをはじめ、土方規久氏、井上需氏、江藤俊哉氏、掛谷洋三氏、レイ・ハークス氏、ロバート・ダヴィドヴィッチ氏、浦川宣也氏、エドワード・ツイエンコフスキー氏、ナウム・エアリッヒ氏、菊池俊一氏、梅原真希子氏、鎌田泉氏に師事。室内楽をウィルリッヒ・コッホ氏、菊池俊一氏に師事。ヴァイオリニストの作品による名曲集をシリーズで行う他、神奈川、埼玉、札幌でアマチュアオーケストラとコンチェルトを多数共演。



## ピアノ 浅井智子 Tomoko Asai

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。札幌市新人音楽会出演の後は、道内各地で独奏、室内楽、協奏曲、伴奏などの演奏の他、辻久子氏の専属伴奏者として全国各地のリサイタルに同行。またニュージーランド・アメリカなど海外でのリサイタル・室内楽演奏会、CD録音、各地の学校・病院・福祉施設への訪問演奏を行う。2017年レコード芸術紙上で《美しい音と、卓越したアンサンブルのセンス》と評される。公開講座・公開レッスンの講師、各種ピアノコンクールの審査員や「JR タワーそらのコンサート」コーディネーターなど幅広く活躍。後進の育成にも力を注ぎ、Vento della Musica を結成。平成25年度札幌文化奨励賞受賞。2013年ソロリサイタルで札幌市民芸術祭大賞、2017年デュオリサイタルで同奨励賞受賞。現在、札幌大谷大学、同高校、北星女子高校各非常勤講師、エルム楽器特別講師。日本ショパン協会北海道支部理事。札幌音楽家協議会、日本ピアノ教育連盟会員。



## ヴァイオリン 鎌田泉 (特別客演) Izumi Kamata

桐朋女子高等学校音楽科に入学を経て、ジュリアード音楽学院にオーナーズ・スカラシップを得て入学。パブロ・サラサーテ国際ヴァイオリンコンクールで第2位入賞し、併せて聴衆賞受賞。スペイン各地でコンサートを行い好評を博す。またニューヨークとワシントンD.C.にてリサイタルやコンサートも行う。日本では紀尾井ホールをはじめ、日本各地で公演を行い、倉敷音楽祭、サイトウキネンオーケストラ、東京のオペラの森などに出演し幅広く活躍している。現在は紀尾井ホール室内管弦楽団のメンバーとして、国内主要オーケストラのゲストコンサートマスターや客演首席を務めるほか、東京音楽大学の指揮科特別アドヴァイザーを務める。2019年にはチェロの石川祐支氏（札幌）、ピアノの西本夏生氏と「トリオ・ミーナ」を結成、毎年 Kitara 小ホールでコンサートを開催している。2022年には第4回公演を予定。札幌と東京に在住。

ザ・ルーテルホールへのアクセス  
札幌市中央区大通り西6丁目(南側仲通り)

